

大阪湾漁場環境速報

平成29年1月6日発行
兵庫のり研究所

窒素は全域で6 $\mu\text{g-at/L}$ 以上となっており、各ノリ漁場周辺での栄養塩は十分量で推移しています。湾奥部周辺海域で数種の珪藻が確認されますが、今のところ特に問題となる発生量ではなく、それ以外の海域においてはこれら珪藻はほとんど確認されない状況です。

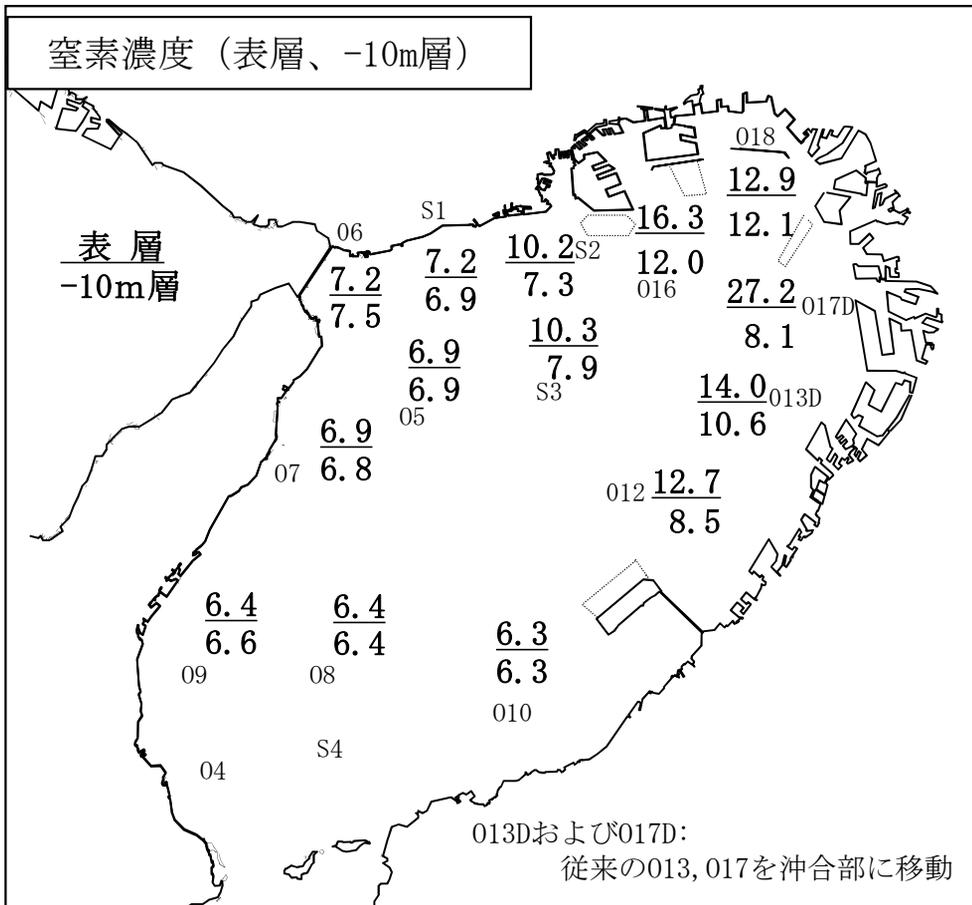
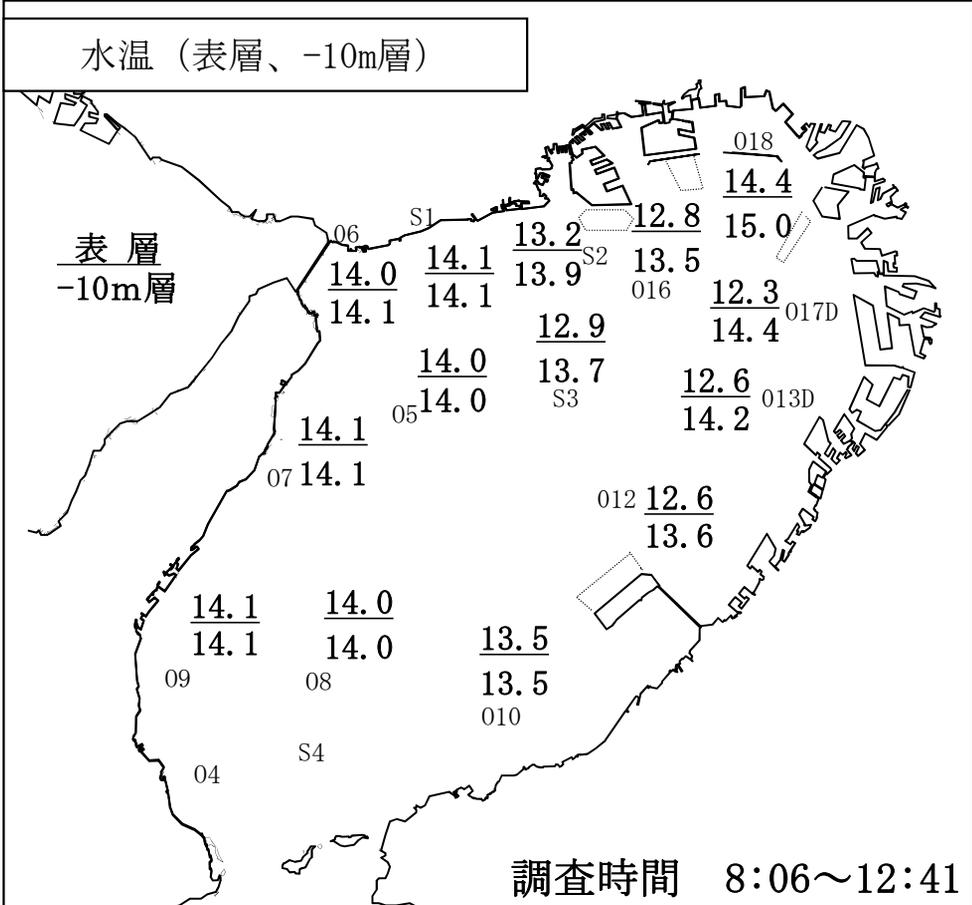
(水温) 表層は湾内12~14℃台で、平均13.6℃(平年比+1.6℃)。-10m層は平均13.9℃(平年比+1.5℃)。

(塩分) 表層平均31.41psu(平年 31.81)。-10m層平均31.78psu(平年 32.24)。

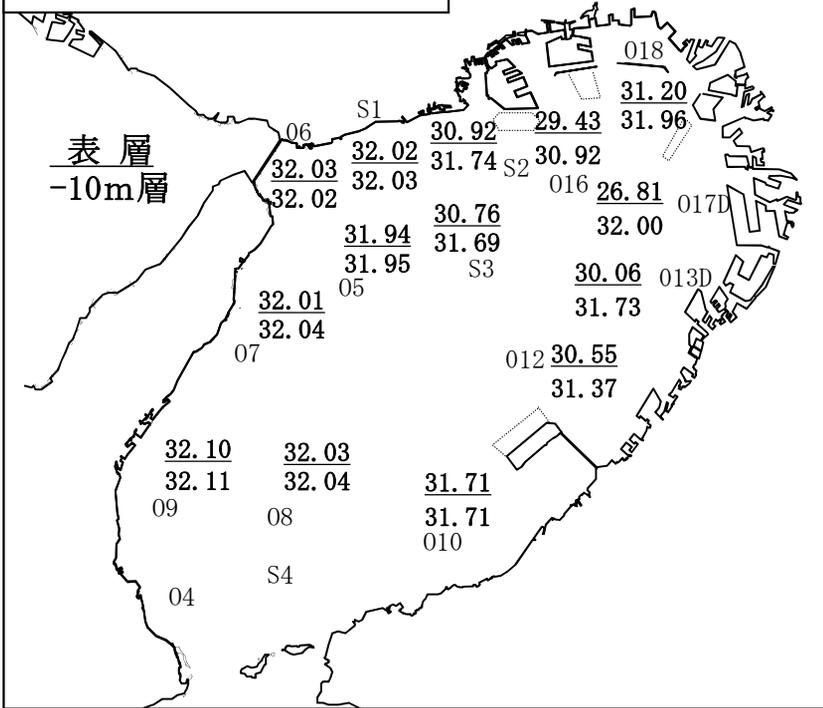
(栄養塩、他) 表層の窒素は平均8.8 $\mu\text{g-at/L}$ 、リンは平均0.61 $\mu\text{g-at/L}$ 。窒素は平年よりやや低く、リンは平年よりやや高い。-10m層(平均)は、窒素7.5 $\mu\text{g-at/L}$ 、リン0.62 $\mu\text{g-at/L}$ 。神戸空港周辺~岸和田の塩分濃度が30psu台以下の海域で、スケルトネマやリゾソレニア、キートセロス等数種の小型珪藻が確認され、神戸空港東の調査地点においてこれら珪藻がやや多かった。年末年始にかけ比較的穏やかな天候が続いていたが、海域全体での小型珪藻の増殖・拡散は見られず全般に珪藻の発生量は少ない状況にあり、栄養塩(窒素・リン)は十分量で推移している。

上段 (今回値)	平成29年1月5日調査
中段 (昨年値)	平成28年1月6日調査
下段 (平年値)	1月上旬

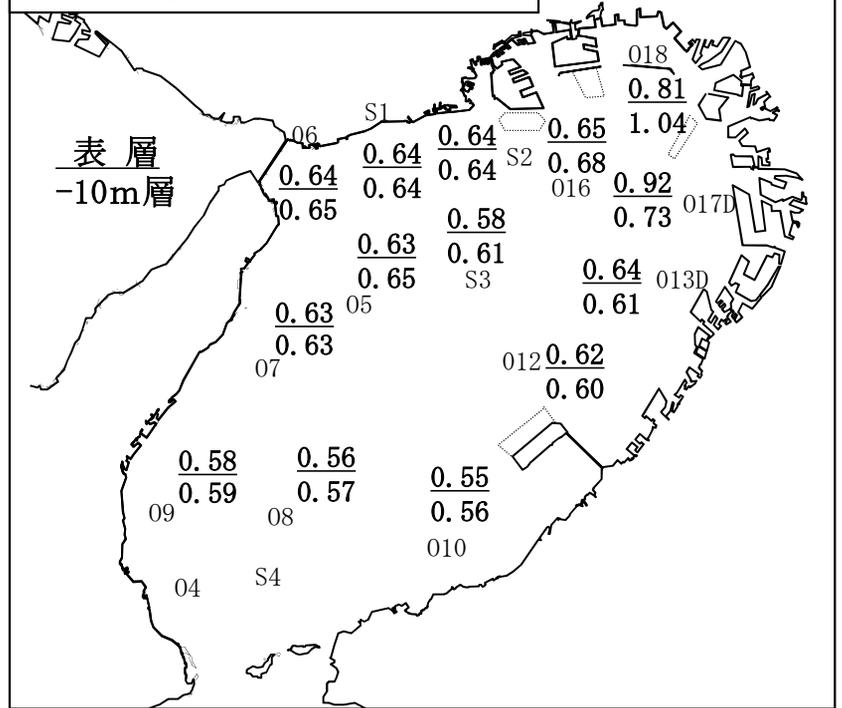
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 ($\mu\text{g-at/L}$)	燐酸 ($\mu\text{g-at/L}$)
04	16.0	33.18	4.5	0.40
	13.3	32.76	6.9	0.59
05	14.0	31.94	6.9	0.63
	14.7	32.20	5.7	0.50
06	14.0	32.03	7.2	0.64
	14.6	32.18	6.3	0.55
07	14.1	32.01	6.9	0.63
	14.4	31.97	4.8	0.41
08	14.0	32.03	6.4	0.56
	14.9	32.36	5.5	0.53
09	14.1	32.10	6.4	0.58
	15.0	32.43	5.4	0.52
010	13.5	31.71	6.3	0.55
	13.6	31.63	2.3	0.19
012	12.6	30.55	12.7	0.62
	12.9	30.59	3.1	0.05
013D	12.6	30.06	14.0	0.64
	13.0	30.28	5.4	0.48
016	12.8	29.43	16.3	0.65
	13.8	30.46	9.3	0.07
017D	12.3	26.81	27.2	0.92
	13.4	29.19	18.5	0.30
018	14.4	31.20	12.9	0.81
	13.2	29.05	8.7	0.06
S1	14.1	32.02	7.2	0.64
	13.6	31.56	7.3	0.25
S2	13.2	30.92	10.2	0.64
	13.3	31.15	5.7	0.18
S3	12.9	30.76	10.3	0.58
	13.6	31.41	2.8	0.16
S4	14.6	32.31	3.2	0.34
	12.9	32.49	6.9	0.60



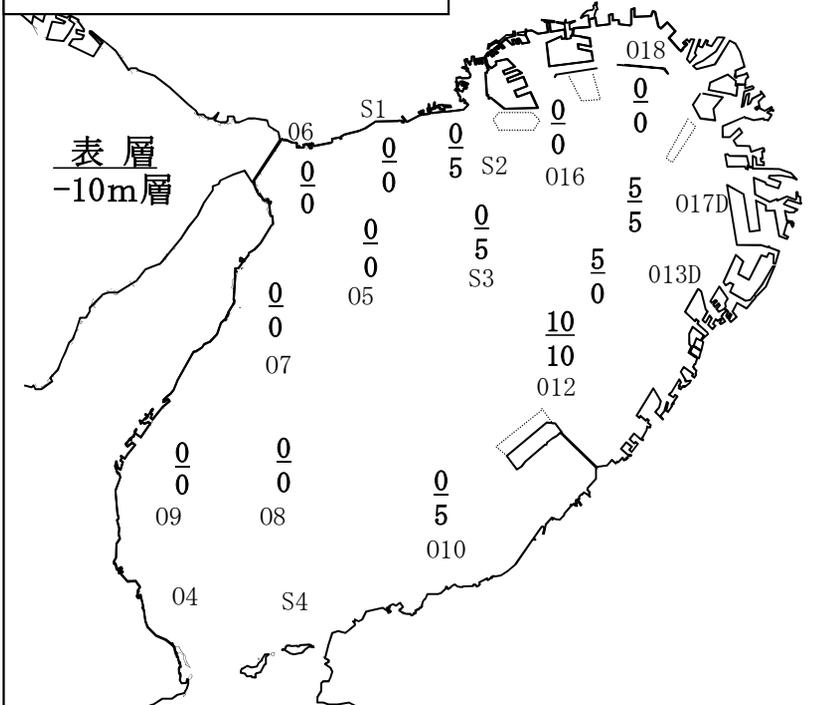
塩分 (表層、-10m層)



リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスカス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)

